資料3

第10回
東京臨海リサイクルパワー株式会社による
微量ＰＣＢ廃棄物処理事業に係る地域環境委員会

平成２７年８月６日（木）

東京臨海リサイクルパワー株式会社

東京電力株式会社

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

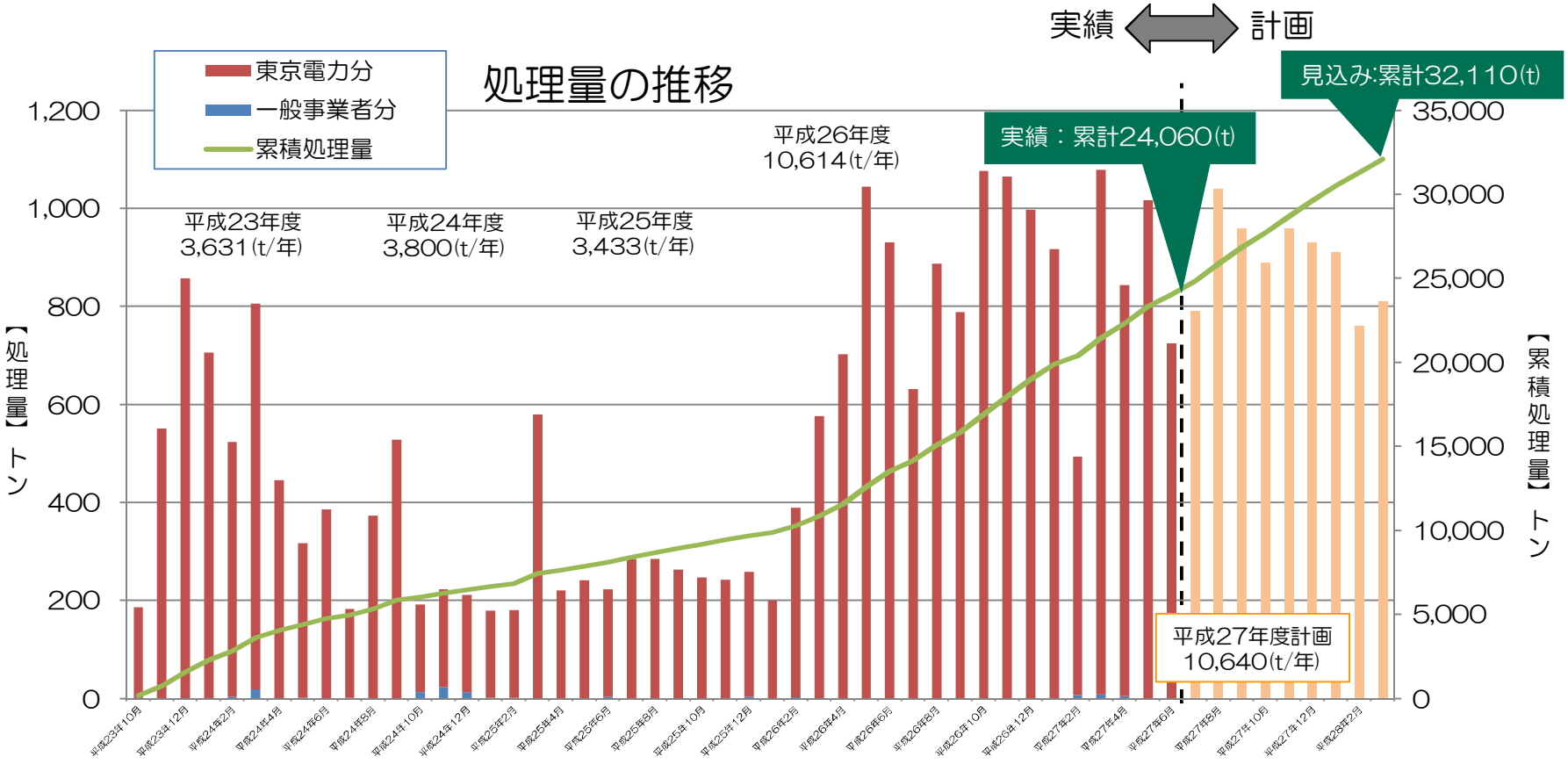
2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

（１）微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理実績と計画

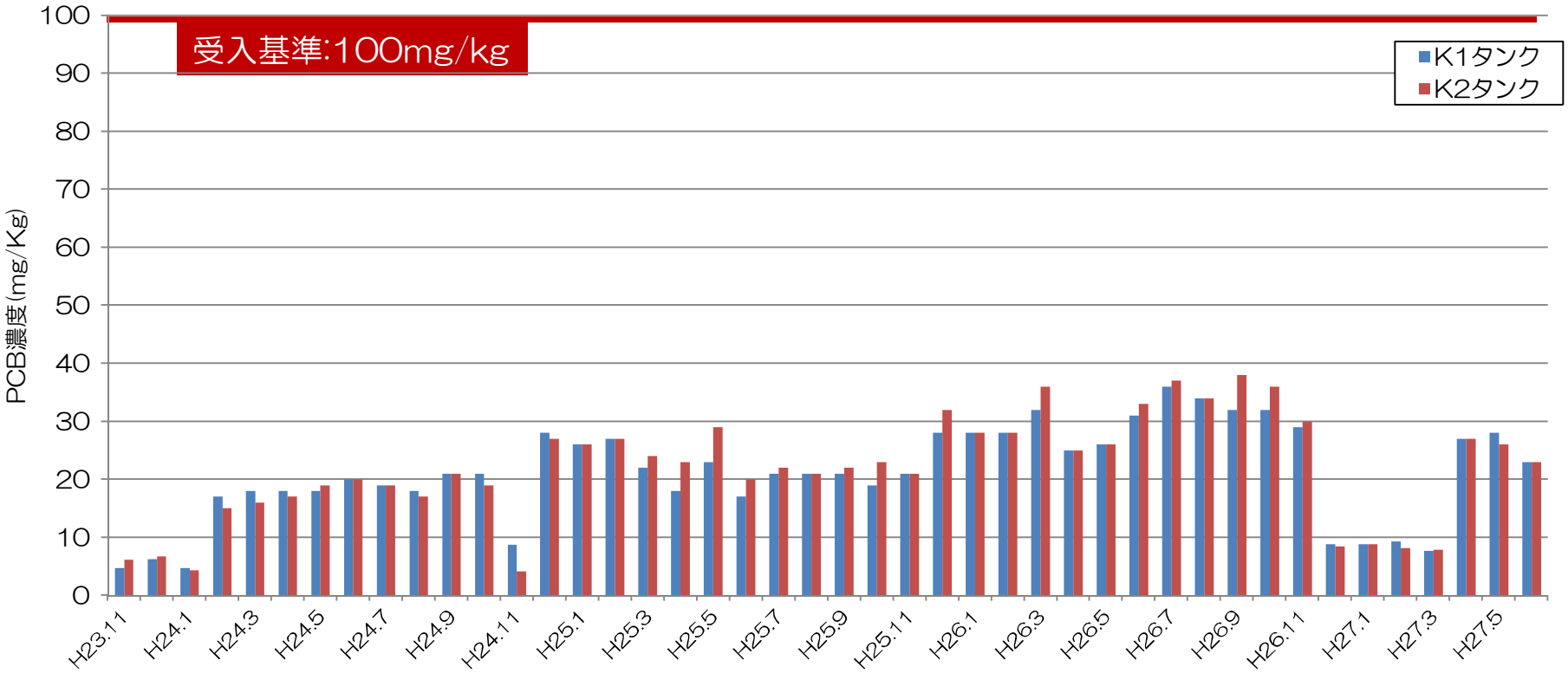
◆ 微量PCB汚染絶縁油は、確実な処理を継続実施中。
◆ 平成27年度は、当初計画通りに処理が進んでいる。



※平成27年６月末日現在

（２）微量ＰＣＢ汚染絶縁油の濃度測定結果

- 微量PCB汚染絶縁油は敷地内の２基（K1、K2）のタンクに受入。
- 定期的（1回/月）に各タンクのPCB濃度を測定、受入基準以下を確認。



※平成２７年６月末日現在

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

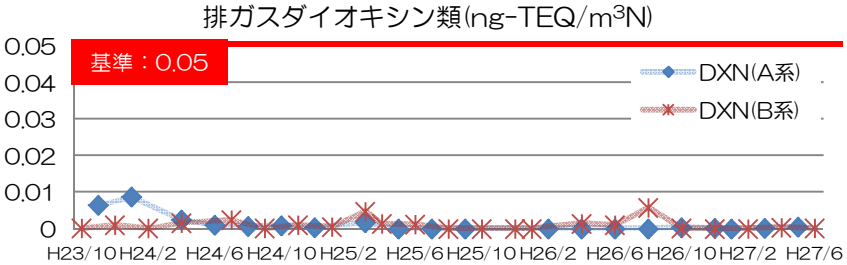
2 環境モニタリング状況

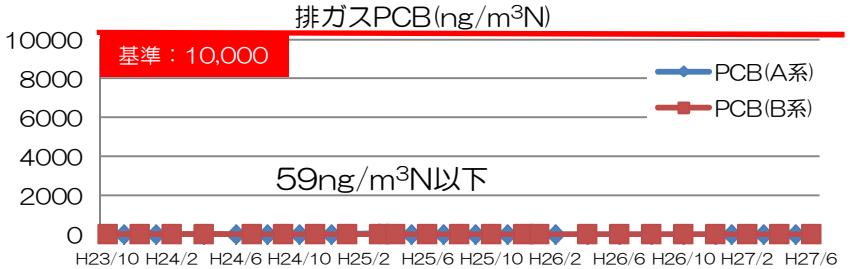
3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

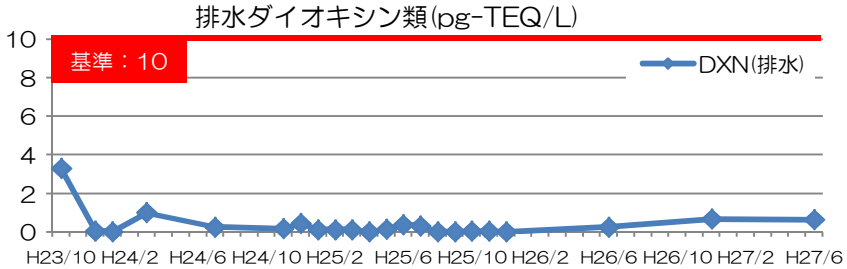
4 その他

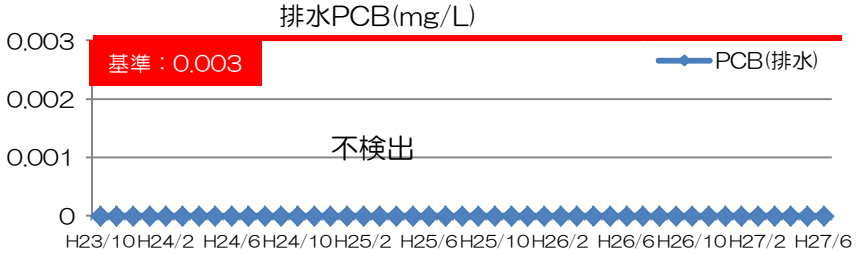
（1）発生源モニタリング（排ガス、排水、廃棄物）

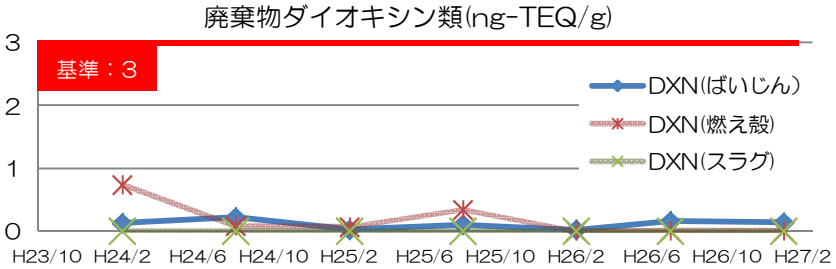
- 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のPCBおよびダイオキシン類測定を実施。
- 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。









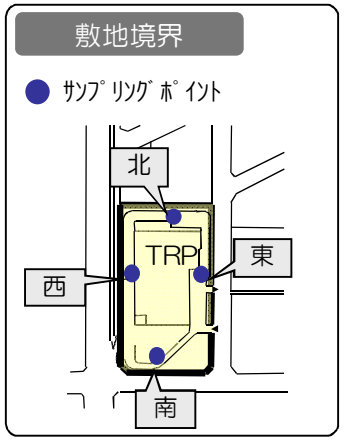


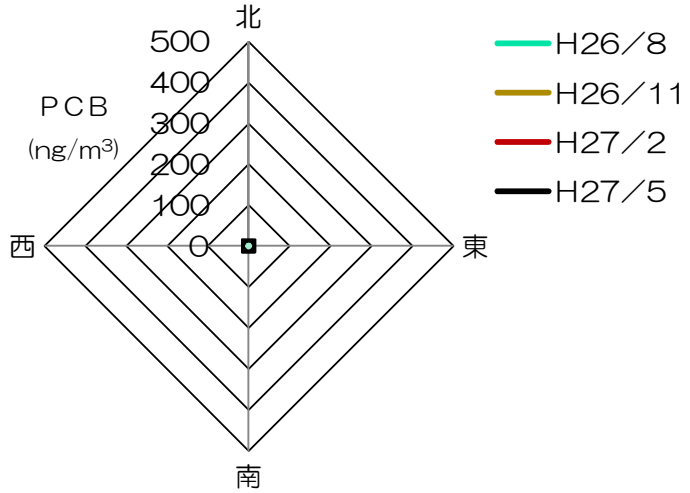
（2）敷地境界大気

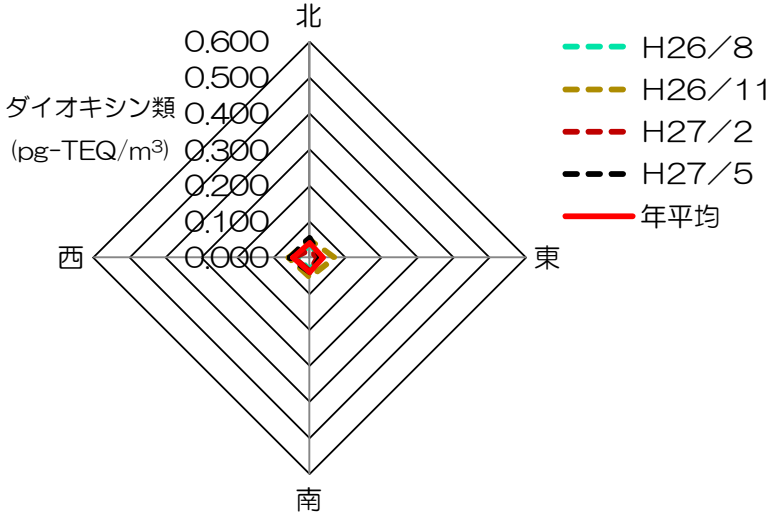
◆ 協定に基づき年4回の頻度で敷地境界において測定を実施。

◆ ＰＣＢおよびダイオキシン類濃度ともに、全ての測定値が基準値を満足。

		測定月				年平均	基準値	測定頻度
		H26／8	H26／11	H27／2	H27／5			
ＰＣＢ (ng/m^3)	東	0.600	0.310	0.200	0.270	0.345	500	4回／年
	西	0.690	0.250	0.210	0.097	0.312		
	南	0.570	0.340	0.170	0.110	0.298		
	北	1.000	0.310	0.230	0.098	0.410		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m^3)	東	0.031	0.069	0.021	0.030	0.038	年平均 0.6	4回／年
	西	0.031	0.058	0.042	0.055	0.047		
	南	0.034	0.054	0.036	0.041	0.041		
	北	0.038	0.051	0.022	0.056	0.042		







議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

（１）社内教育

◆ 社員（経営層、協力会社含む）の関係法令に関する理解度の向上、安全意識の高揚等を目的に定期的な教育を実施。

前回（第９回）の地域環境委員会以降の社内研修実績

実施日	内　　容	対象
毎月1回	関係法令等の勉強会を実施 廃棄物処理法、水濁法、フロン排出抑制法等	経営層 管理職
随　時	入社時、新規入所時の安全教育及び ダイオキシン・ＰＣＢ教育	新入社員 協力会社
平成２７年２月２５日	安全教育、ダイオキシン・ＰＣＢ教育、消防教育	メンテナンスG
平成２７年４月１０日	高圧ガス（液化酸素）取扱安全講習	運転G 当　直 メンテナンスG
平成２７年４月１３日・ １５日・１６日	保安教育・巡視点検の重要性等	運転G 当　直
平成２７年４月２８日・ ５月１３日	工事監理員研修（安全評価、安全施工）	メンテナンスG

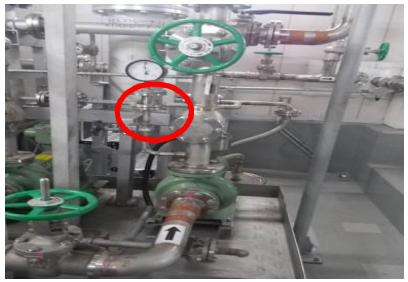
※平成２７年６月末日現在

（２）訓練（緊急時対応訓練）

◆ 微量PCB汚染絶縁油の漏洩等、緊急事態を想定した対応訓練を年2回実施。

【平成27年6月9日】『微量ＰＣＢ汚染絶縁油漏洩発生』緊急時対応訓練

◆油受入ポンプ室内での微量ＰＣＢ汚染絶縁油の漏洩を想定。
◆当直運転員の初動対応、漏洩対応作業及び行政への通報等の訓練を実施。



微量PCB汚染絶縁油漏洩発生箇所

タンクローリーの避難誘導

油ポンプ室設備各ポンプ電源断

油ポンプ室設備各系統出口弁閉止

公設消防への状況報告（模擬）

非常災害対策本部での情報共有

漏洩したPCB汚染絶縁油の回収作業

訓練終了後の反省会

※次は平成２７年下半期に第２回訓練を実施予定。

（3）災害等発生状況（１／3）

◆ 微量PCB汚染絶縁油処理に関する労働災害の発生はなし。

◆ TRPにおける労働災害は前回委員会（第９回）以降、請負災害１件発生。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (6月末まで)
労働災害 発生件数	5	4	0	4	0

（3）災害等発生状況（2／3）

H26年度災害発生状況（請負災害）

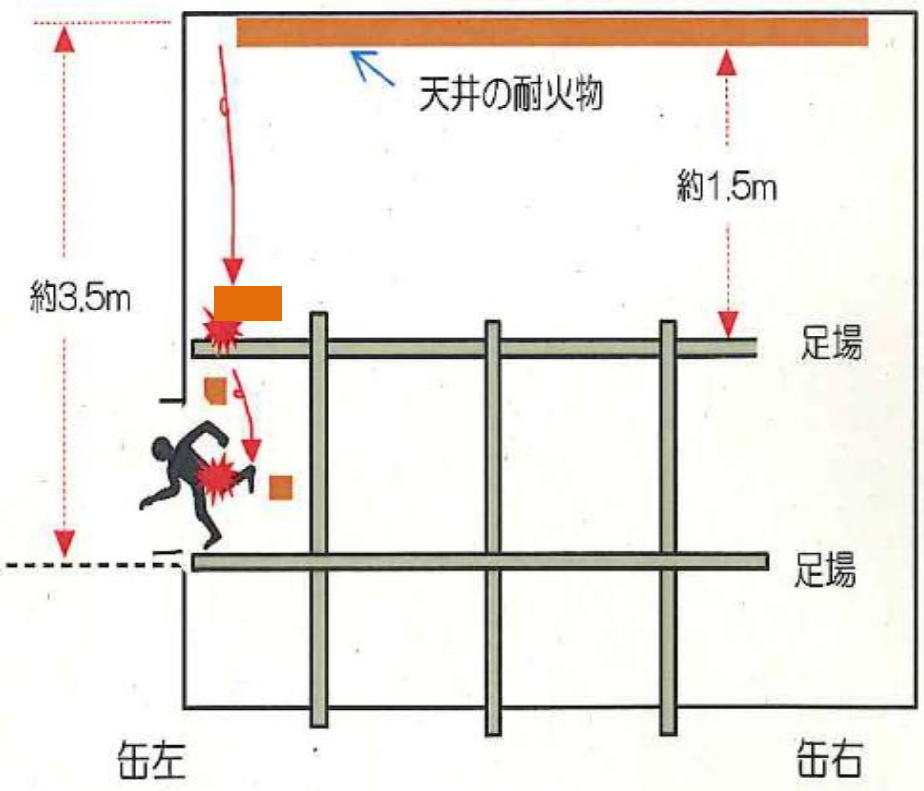
災害発生日時：平成27年2月15日（日）11：30頃

場所：産廃炉Ａ系ボイラ内

被災者：協力会社(１次請)42歳（男性）経験年数5年　背骨横突起骨折（重傷）

発生状況：

停止中の産廃炉A系ボイラ内(クリンカ除去済み)作業を終え、マンホールから炉外に出ようとした時、ボイラ内天井部の耐火材が剥離脱落し、足場に当たり砕けた耐火物の一部(30×30cm角、5.5kg相当)が足場の隙間を抜け、背中に落下し負傷した。



（3）災害等発生状況（3／3）

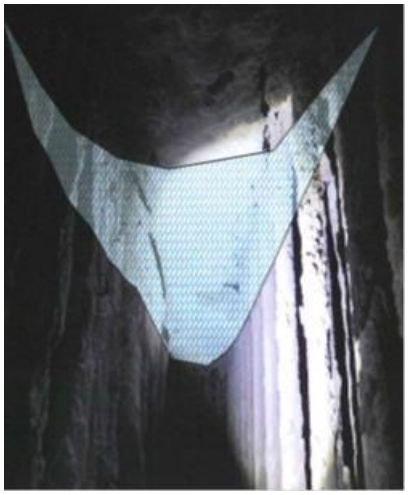
災害発生原因

- 落下除けとして設置していた足場の隙間から抜けると想定しておらず、もし落下しても最上部の足場(高さ1.5m）まで、と思っていた
- 耐火材の剥離脱落下がこれまで経験がなかった

対応

緊急実施：耐火材の剥離・浮き箇所の確認実施

対策



- 炉内に入る前にクリンカ除去実施
- 防護ネットによる落下防止

- ボイラ内に入る作業員は、全員プロクテクターを着用

- 工事関係者への災害事例の周知
  現場掲示板による注意喚起

（4）設備不具合

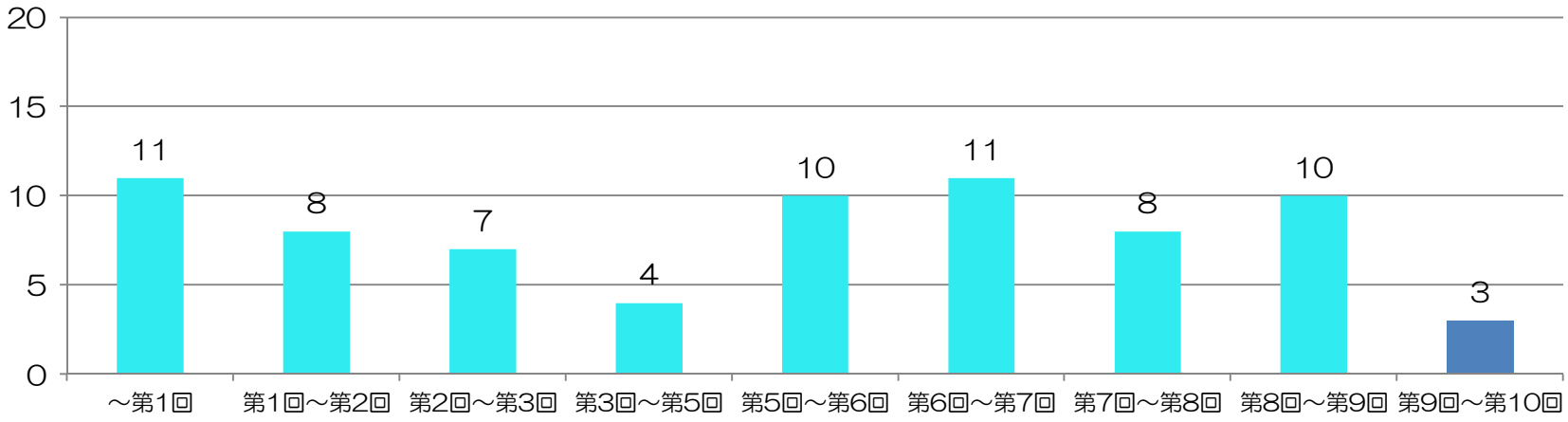
◆ 前回（第９回）の地域環境委員会以降、微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合はなし。

産業廃棄物焼却炉の微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合発生件数

期　間	～第1回	第1回～第2回	第2回～第3回	第3回～第5回	第5回～第6回	第6回～第7回	第7回～第8回	第8回～第9回	第9回～第10回
発生件数	0	0	0	0	0	1※1	0	0	0

※1　平成25年12月19日　油サービスタンクからの滲み発生。（第7回委員会にて報告）

【参考】産業廃棄物焼却炉のトラブルによる設備停止回数



注）第4回は臨時開催のため除外

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

★当社のご見学について

平成26年度実績

一般の方（エコタウン見学会にて） 262名

海外の方（韓国、ロシア、ミャンマー、ケニアなど） 119名

（その他に官公庁、各企業の方もお見えになっています）

多くの皆様に弊社の事業活動をご紹介しております